

神戸市少年団登山教室活動（7月5日）報告

2025. 7. 6

1. 参加者 教室生 32名 岳連理事等13名 大学生ボランティア1名

2. 記録 天気：快晴

12:30 神戸登山研修所 教室生受付
出席教室生をA、B班に分け、クライミングシューズ合わせをする。

13:00 座学「地図の学習」（45分）
於：3階大会議室

13:00 実習1
A班：ボルダリング
於：2階ボルダリングルーム
B班：ロープクライミングのシュミレーションとハーネス装着等の練習
於：3階大会議室

15:15 実習2
B班：ボルダリング 於：2階ボルダリングルーム
A班：ロープクライミングのシュミレーションとハーネス装着等の練習
於：3階大会議室

16:05 クライミング体験終了

16:15 活動終了後の全体会
於：3階大会議室
解散

3. 配布物 レジュメ「地図の学習」、
登山地図、地理院地図
プレートコンパス 10個（貸出）

4. 活動内容

この日は早すぎる梅雨明け後で盛夏のような暑い日、神戸には熱中症警戒アラートが発令された。そのため予定していた外壁のクライミングを取り止めて次回の外壁クライミングの準備としてロープクライミングのシュミレーションの見学やハーネスの装着の実習を実施した。座学では「地図の学習」を行う。地図の記号や等高線の説明や登山地図や地形図を配布してその違いなどを学習した。

座学の後、教室生は2班に分かれてボルダリングとロープクライミングの準備実習を行う。ボルダリングは屋内の壁に設置したホールドに手や足をかけて壁を登った。いろんな形や色の違うホールドに身体をよじらせながら登る。初めて体験する子ども達も果敢にチ



チャレンジした。外壁クライミングに代えての準備実習ではロープクライミングのシュミレーションを見学した後に各人がハーネスを装着して天井からぶら下がりを行う。ロープにぶら下がるとどんな感じがするか、その時のハーネスの働きはどんなものかを体験した。次回のロープクライミングに繋がればと思う。

今回も屋内の活動ではあるが厳しい暑さの中での活動であり飲料水や氷の準備など熱中症対策に多くの注意を払って今回の活動に臨んだ。



5. 感想

熱中症警戒アラートが発令されていたため外壁のロープクライミングができなかったのは残念だった。次回（8月3日（日））も厳しい暑さが予想されるので活動時間を後ろにずらして実施する対応も必要と考えている。また今回は32名の教室生が参加したが2班に分けても各班16名の活動となり狭いボルダリングルームでは人数が多すぎるという反省がでた。本来の教室生が37名であることを考えると、教室生を2班ではなく3班に分ける必要があると考える。次回の登山教室では実施時間の繰り下げと班分けの変更に伴うプログラムの組み直しを考えてみたい。



予定していたロープクライミングの代わりにハーネスを付けてのロープにぶら下がり体験やハーネスを自分で装着する練習をした。子ども達にとっては初めての経験であり真剣な顔をしてロープにぶら下がっていた。自身の身体を使っでの体験を組み入れて良かったと思う。

今回も熱中症予防対策には飲料水（ペットボトル）、氷と氷枕、塩分タブレット、経口補水液や外壁クライミングの為にタープ、大型扇風機2台などを準備した。ただ外壁クライミングを実施しなかったのが熱中症の心配は小さくなった。次回の登山教室でも厳しい暑さが予想される。熱中症対策には万全を期して準備したい。



文責 大西